

男女共同参画社会の実現に向けて

わだい③

2月17日、舟形町男女共同参画社会推進委員会（会長伊藤明美さん）で県男女共同参画推進員出前講座が開催されました。県男女共同参画推進員の矢作めぐみさん（堀内）が「男女共同参画から～男性の家事参加を考える～」と題し講演。特にグループトーク「家事リスト100選」では活発な意見交換があり、委員からは「また開催したい」との声がありました。

また、委員が企画したパネル展「男女共同参画早わかり」も同時開催されました。



元気に育って小国川に帰ってきてね

わだい④

3月6日、舟形ほほえみ保育園の園児20名と最上町のあたごこども園の園児37名が、サケの放流を体験しました。放流したサケは、小国川に遡上してきたサケを捕獲し小国川漁業協同組合の管理施設でふ化させたものです。

今年は2月22日から実施し、のべ50万尾を放流しました。放流したサケは海で成長し、3～4年後に帰ります。帰率は0.5%と言われていますが、無事に帰ってきてほしいですね。



見て触って学ぶ、縄文の女神

わだい⑤

3月9日、舟形小学校3年生を対象に国宝「縄文の女神」の出土30周年と国宝指定10周年を記念した縄文講座の学習会が行われました。縄文に関する学習のほかに、触れる「縄文の女神」高精細レプリカを展示し、実際に触ることで形や重さを体感していました。

また、勝手に舟形盛り上げ隊「わ+（ぶらす）」による地区、県の視聴覚教材で優秀賞を受賞した縄文の紙芝居とオリジナル体操が披露され、子どもたちは縄文時代の生活や文化に関する興味関心を高めていました。



野菜でできたスタンプで、トートバッグに彩りを

わだい①

2月17日、舟形小学校4～6年生が新庄神室産業高校農産活用科の生徒と野菜スタンプのトートバッグ作りを行いました。この交流活動学習は、植物の不思議やものづくりの楽しさを学ぶことで、農業に対する興味・関心を高めることを目的としています。

事前に野菜スタンプとして加工された、玉ねぎ・ねぎ・



ピーマン・レンコンなどのたくさんの野菜を使い、高校生に彩りのコツを教わり作成。小学生は「はじめて野菜でスタンプをして楽しかった」、高校生は「コミュニケーションの取り方など、子どもたちからもいろいろな学びがありました」と話していました。

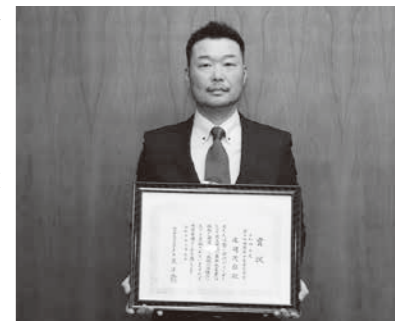
庄司茂雄さん、最上地域農林水産業若者賞を受賞

3月9日、庄司茂雄さん（太折）が最上地域農林水産業若者賞を受賞しました。この賞は、最上地域の農林水産分野で活躍し、農業の振興に貢献する若者に対して渡されるものです。

庄司さんは、平成23年に父から経営を継承し、水稻と園芸の複合経営を営んでいます。平成30年に太郎野機械利用組合を設立し、平成31年に県の青年農業士に認定。組合長としてミニライスセンターを建設し、現在法人化を目指しています。



高齢化による地域の農地の受け皿として農地を積極的に借受け、夏季にはきゅうり栽培において地元の高齢者を雇用しています。庄司さんは今回の受賞を受け「太折地区の農業を自分が中心となって支えていきたい」と話していました。意欲あふれる地域農業の担い手として、今後の活躍が期待されます。



トルコ・シリア大地震復興 ウクライナ緊急人道支援 募金のご協力をお願いします

舟形町住民税務課窓口で募金箱を設置しています。寄せられた義援金は、日本赤十字社へ届けられ支援にあてられます。



3/14 舟形中学校 マスクを外し、感動の卒業式



▶横田政美校長先生から40名の卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡されました。

3/10 ふれあい育児の広場 ユメリオンがやってきた



▶ふれあい広場にゆめりあ未来創造共同企業体のヒーロー「未来創造戦士ユメリオン」がきてくれました。

3/8 舟形中学校募金活動 トルコ・シリアの復興を願って



▶生徒会長の佐藤春希さん（舟形第4）が、校内募金活動で集めた22,053円を森町長に手渡しました。

2/24 叶内範夫さん（長沢第1） 中立的な立場で審査



▶固定資産評価審査委員に委嘱されました。任期は3年です。

2/24 町建設業協会 ランドセルカパーの協力金を寄付



▶町建設業協会から交通安全母の会に、新入生に配られるランドセルカパーの協力金が手渡されました。